

東三河連絡所を開設

片山氏来社「6次産業や福祉に力」

自民党の片山さつき参院議員(全国比例)が16日、秘書の元豊橋市議・丹羽洋章氏と東愛知新聞社に来訪した。党愛知県連所属議員でもある片山氏は、名古屋事務所に近いで先月、豊橋市新栄町に「東三河連絡所を構えた」と報告。「オールハウスの政治

家としてお手伝いしたい」などと述べ、地域のため積極的に尽力する姿勢を示した。

片山氏が東三河で活動をはじめたのは、静岡7区の議員となつた2005年から。豊橋まつりに参加したり、市長選、県議選の応援なども足しげく通い、重

要な位置付けを保ってきた。「豊橋はあ

る意味、日本の縮図です。将来日本の人口が1億人を切ろう

としている中で、治めやすいコンパクトなまちとして、さまざまなチャレンジができ、(地産地消など)日本の生きる道を示してくれる」と評価する。「すく

暮らしやすいまちです。長い目で見た地域づくりのため、6

次産業や子育て福祉などの面で力を入れていきたい」。

県境を越えた三遠南信地域でも、豊橋・浜松・飯田3JC(青年会議所)のサミットで講演するなど、大きな可能性に注目する片山氏。

自民党のリニア特命委員会座長代理という立場から、27年に名古屋―東京間に開通予定のリニア新幹線をにらんだ対策の必要性を指摘する。「リニア新幹線ルートが(大きな発展の可能性を秘めた)内陸フロンティアになってきてい

る。現在の新幹線沿線地域が疲弊しないため、力を合わせて(新幹線本数の増発などに)取り組むべきです」。

なお片山氏の後援会は、7月10日午後6時からホテルキャッスルプラザ名古屋(中村区)で、安倍晋三首相らが発起人となり「参議院議員片山さつき君を励ます会」を開く。開設した東三河事務所の所在地は、豊橋市新栄町東小向31の11(0532・34・3220)。



片山さつき君を励ます会」を開く。開設した東三河事務所の所在地は、豊橋市新栄町東小向31の11(0532・34・3220)。(藤田彰彦)

県内での活動に力を

片山参議員 豊橋に事務所開設など報告

自民党の片山さつき参院議員(全国比例区)が16日、東海日日新聞社を訪れて白井収本社長と懇談し、豊橋市内に事務所を開設したことや同党環境部会長としての活動などを報告した。

浜松市に静岡事務所を置き、同党愛知県連にも所属し東海地域を地盤に活動する片山氏は、2年後

の参院選を見据えて豊橋市新栄町に東三河連絡所を開設し

た。7月10日には名古屋市内のホテルで「励ます会の開催も予定しており、衆参同日選の可能性もある。静岡と愛知を合わせて人口は1000万人おり、きちんと活動すれば当選できる」と話し、愛知県内での活動にも力を入れていく姿勢を示した。

昨年10月に環境部

最近の活動を報告する片山さつき氏(東海日日新聞社で)

会長に就き「毎週のようにおもしろいプロジェクトが持ち込まれて、いい時に部長になれた」と話す。

現在は、うなぎなどの資源管理や養殖

業の振興を図る内水面漁業振興法案を、議員立法で今国会中に成立させることに取り組んでいる。「うなぎの減少は乱獲や護岸工事が原因。国内でしっかり管理する姿勢を見せて、絶滅危惧種に登録されないようにしないといけない」と法案の重要性を訴えた。

(石川正司)

